

## 幡多地域アクションプランの進捗状況等について

幡 多 地 域 本 部

令和3年2月8日（月）



## 幡多地域アクションプランの進捗状況等

R3. 2. 8

幡多地域本部

### 1 地域アクションプランの令和2年度の実施状況（総括）

#### (1) 総評

幡多地域のアクションプランに関しては、今年度から第4期産振計画42項目について、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各種支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けた取り組みを始めている。

しかしながら、この冬の新型コロナウイルス感染の再拡大（第3波）の影響により、幡多地域においてもホテル・旅館、観光施設や飲食業など幅広い分野の事業者において来客数、売上ともに甚大な影響を受けている。また、一次産業や製造業においても、業種、品目によって甚大なダメージを受けており、各事業者に対し、事業の継続や雇用の維持等に関する支援を行うとともに、GoToトラベルやGoToイートなどの経済対策による観光業の回復や地域経済の再生に向けた取り組みを新型コロナウイルス感染拡大を防ぎながら進めて行かなければならない状況にある。

一方、新たな賑わい拠点施設として、新足摺海洋館や四万十市中心商店街「はれのぼ」のオープン、西土佐・大月でキャンプ場が整備されるなど、今後の地域振興に大きな期待が寄せられている。

こうしたなか、農業分野では、「ユズ」「直七」「ぶしゅかん」等の柑橘の作付面積の拡大やブランド化、青果や加工品の販売拡大を目指した、官民協働による取り組みを引き続き進めている。宿毛市では文旦、直七、イチゴのブランド化や新たな加工製品の開発、観光誘客などを目指す地域産業クラスターに取り組んでいる。畜産関係では、四万十市西土佐地域の産業振興を目指して官民で組織する「西土佐地域産業振興推進協議会」において、「四万十牛」を活用した新たな加工品や食事メニューの提供、PRに関する取り組みを始め、新たに四万十牛の加工販売施設の整備を進めている。

林業分野では、大月町の土佐備長炭の飲食店向けの売上は減少しているが、GoToイート等の経済対策による売上回復が望まれている。課題となっている原木の確保に向け、町や生産組合等の関係機関が連携した苗木の植樹を始め、長期的な視点に立った資源の造成策に取り組んでいる。また、新たな生産者候補の技術研修を実施している。

水産分野では、量販店向けの出荷は増えているものの飲食店向けの出荷が減少し、影響を受けている事業者が多い。「かつおの薫焼きたたき」をはじめ、「メジカ」「ブリ」「タイ」「キビナゴ」等の水産加工事業者を中心に、外商活動による販路拡大に取り組んでいるほか、土佐清水市の「メジカ」や宿毛市、大月町の「養殖マグロ・ブリ・タイ」といった、地域の資源を生かした地域産業クラスターを目指す取り組みも継続して進めている。土佐清水市の「メジカ」に関しては、宗田節を原材料とする新商品「スープブロス」を全国に販売するため、産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し、大量生産のための製造ラインの整備を進めており、全国的な販路開拓に向けて取り組んでいる。

商工業分野では、コロナ禍においてオンラインでの商談会が本格化し、当地域においても参加事業者が増えるなど、今後新たなコンテンツとして位置づけられる。コロナ禍における各商業事業者の経済的影響が甚大ななか、四万十市の天神橋商店街に、中心商店街にぎわい拠点「はれのぼ」が4月にオープンし、現在のところ入込客数が順調に推移しているところである。

観光分野では、新型コロナウイルスの影響で予約客のキャンセルが相次ぎ、引き続き各種イベント等の中止されている状況下ではあるが、7月18日にオープンした新足摺海洋館「SATOUMI」の入館者数が、オープン6ヶ月あまりで15万人を超えるなど周辺の観光地への好影響を及ぼしている。また、自

然・体験型観光の大月町柏島や四万十川、各キャンプ場などの入込客数も大幅な伸びを示している。三原村のヒメノボタンの里の整備も順調に進んでおり、苺氷りとタイアップした「ゆず氷り」も好評を得るなど、県内客を中心に新たな動きが見られている。

特に、当地域においては、6市町村長と高知大学、幡多広域観光協議会でリモート会議を随時実施し、コロナ拡大防止対策と観光復興対策が協議され、「ENJOY!はた旅クーポン」の実施につながった。各ホテルや旅館等のコロナ対策の徹底、(特非)砂浜美術館のスポーツ合宿受入運営ガイドラインの策定等、コロナ禍における新たな受入対策の取り組みが進んでいるところである。

GoTo トラベルの影響もあり宿泊者数は回復傾向にあったが、新たに新型コロナウイルスの患者が発生したことでキャンセルによる影響も出ている。

今後もコロナ感染者の状況にも注視し、新たな生活様式の充実にも配慮しつつ、地域産業の活性化を目指し、産業振興計画の目標達成に向け官民協働で取り組みを進めていく。

## (2) 具体的な動き

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等の推進(宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)成田果樹園</li> </ul>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30): 5,420万円</p> <p>直近値(R元): 5,337万円</p> <p>到達目標(R2): 6,500万円</p> <p>目標(R5): 7,500万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R2.4~9月): 17,358千円(対前年同期比70%)</p> <p>※コロナ禍による飲食店との取引減のため。</p> <p>○既存商品の販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機栽培、減農薬栽培への継続的な取り組み</li> <li>・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上アップに向けた新たな市場開拓</li> <li>⇒新商品開発、体験メニューづくり</li> <li>⇒既存商品(柑橘・加工品)のPR促進</li> </ul>
<p>■No.2 土佐極鶏あしずりキングの生産加工・流通・販売の推進(土佐清水市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎・(株)足摺農園</li> <li>・土佐清水市</li> </ul>	<p>[指標]</p> <p>(1)あしずりキング生産羽数</p> <p>出発点(H30): 1,950羽</p> <p>直近値(R元): 2,400羽</p> <p>到達目標(R2): 4,920羽</p> <p>目標(R5): 7,438羽</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(2) あしずりキング加工出荷額  出発点 (H30) : 519 万円  直近値 (R 元) : 1, 121 万円  到達目標 (R2) : 2, 230 万円  目標 (R5) : 3, 375 万円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>(1) あしずりキング生産羽数  (R2. 11 月末) : 1, 699 羽 (対前年同期比 121. 3%)  (R 元年度 : 2, 400 羽)  ※R 元年 10 月より関西の卸事業者への出荷羽数が約 100 羽から約 200 羽に増加したため生産羽数の対前年度同期比が増加している。</p> <p>(2) あしずりキング加工出荷額  (R2. 11 月末) : 8, 899 千円 (対前年同期比 129. 1%)  (R 元年度 : 1, 121 万円)  ※同上</p> <p>○生産体制の整備  ・ 県版 HACCP 第 2 ステージ認証取得 (R 元) 後、第 3 ステージ認証取得を目指しているが、飼育、出荷等に追われ作業が遅れている。</p> <p>○流通体制の整備  ・ 販売先 (関西の卸事業者) への出荷が R 元年 10 月から約 100 羽から約 200 羽へ増加。現在も約 200 羽出荷を継続している。  ・ 販売先 (関西卸事業者) を通じた高知市内飲食店への出荷  ・ 県外商談会への参加 (10/28~30)  ・ 高知県産品商談会への参加 (11/25)  ・ イベントであしずりキングを使用した料理を提供 (9/26)</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加工処理体制の確立 (衛生管理体制等)  ⇒加工処理施設の円滑な運営  ⇒県版 HACCP 第 3 ステージ認証取得</li> <li>・ 販路の確保  ⇒販売先等と連携した営業活動、商談会への出展</li> <li>・ ブランド化の推進  ⇒ブランド化協議会で市内提供飲食店の増加を呼びかけるなど、地域ブランド鶏としての確立を目指す</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.3 四万十ぶしゅかんの産地形成とブランド化(四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・四万十ぶしゅかん生産者組合</p> <p>◎・四万十ぶしゅかん(株)</p> <p>・四万十市</p>	<p><b>[指標]</b></p> <p>(1)栽培面積</p> <p>出発点(H30):1,106a</p> <p>直近値(R元):1,350a</p> <p>到達目標(R2):1,266a</p> <p>目標(R5):2,506a</p> <p>(2)生産量</p> <p>出発点(H30):32,592kg</p> <p>直近値(R元):24,943kg</p> <p>※裏年のため</p> <p>到達目標(R2):31,924kg</p> <p>目標(R5):61,154kg</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>(1)栽培面積(R2.10月末):1,350a(対前年同期比120%)</p> <p>※R元が裏年であったため</p> <p>(2)生産量(R2.10月末):29,074kg(対前年同期比116%)</p> <p>※収穫期間は8~10月</p> <p>○産地化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市苗木補助メニュー及び産地化推進人員補助メニュー(ぶしゅかん産地化推進事業:地方創生交付金)の活用(4月~)</li> </ul> <p>○生産量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回収方法の変更</li> </ul> <p>生産者のもとへ回収に行く形から、生産者が集荷所に持ち込む形へ変更したことで、持ち込み数増につながった。</p> <p>○展示会や商談会への出展及び量販店への営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンモールと新規契約(10月~)</li> </ul> <p>旭食品を通じて店舗での「ブチュハイシロップ」販売</p> <p>○各種媒体でのPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコットキャラ、メディアの活用(継続実施)</li> <li>・HP改修</li> </ul> <p>現在は、四万十ぶしゅかん(株)のHPのみ稼働中のため、四万十ぶしゅかん生産者組合のHPを別で作成中。</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の生産技術、ノウハウの習得</li> </ul> <p>⇒生産者の栽培技術の向上や知識の習得に向けた研修会、講習会の継続的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100年ぶしゅかんブランドの確立</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒生産者組合の連携体制の一層の強化、結束力の向上</p> <p>⇒出荷基準の徹底</p> <p>・販売戦略の構築</p> <p>⇒ターゲットを絞った販売ルートの確立</p> <p>⇒美容機能のPR</p> <p>・ぶしゅかんの認知度の向上</p> <p>⇒地元の飲食店等での活用促進</p> <p>⇒メディアを活用したぶしゅかんのPRの継続実施</p> <p>・生産コストの削減、衛生管理体制の強化</p> <p>⇒県版 HACCP 第2ステージ認証申請準備中。</p> <p>⇒集荷・選果・搾汁・保管機能を有した拠点施設の安定稼働、HACCP 第3ステージ認証取得を目指した施設整備</p> <p>※「高知県食品加工施設緊急整備事業費補助金」申請済</p>
<p>■No.4 三原村ユズ産地化計画の推進 (三原村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(公財)三原村農業公社</p> <p>・JA高知県(幡多地区)</p> <p>・三原村</p>	<p>[指標]</p> <p>青果出荷量(公社)</p> <p>出発点(R元):34.4t</p> <p>直近値(R元):34.4t</p> <p>到達目標(R2):53t</p> <p>目標(R5):61t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>青果出荷量(公社)(R2見込み):50t(対前年度比145%)</p> <p>※植生してから年数が経過したことによる収量増のため</p> <p>○地域農業支援システムの推進</p> <p>・公社園の管理、研修生向けの支援(公社)</p> <p>関係機関と協議(4/7、4/17 公社・村・県)</p> <p>(生産管理体制の見直し、スマート農業の取り組み等)</p> <p>公社園巡回(4~6月 4回)</p> <p>防除等講習会(5/28 21名)</p> <p>進捗管理支援(4~6月 アドバイザー協議3回、班長会議3回延べ20名)</p> <p>・スマート農業の取り組み</p> <p>事業申請(5/19)及び事業採択(6/2)</p> <p>○新規就農者(就農5年以下)の経営安定</p> <p>・肥培管理・防除・剪定等個別巡回指導(4~6月 8回)</p> <p>・防除等講習会(6/11 3名)</p> <p>○ユズ商品加工・販売</p> <p>・ゆずマーマレード・ゆず胡椒を幡多管内の道の駅等にて販売中</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ共同選果施設の効果的運用 ⇒選果効率アップのため、JA 三原支所柚子部会による施設運営協議を継続して実施（生産者による粗選果、計画的搬入等）</li> <li>・スマート農業機器の導入と効率的利用 ⇒効率的利用方法の確立（作業効率の向上のため、園地経営管理ソフトとリモコン式自走草刈り機を導入）</li> </ul>
<p>■No.5 大月町内の持続可能な山林資源を活用した製炭業の推進（大月町）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大月町備長炭生産組合</li> </ul>	<p>[指標]</p> <p>販売量</p> <p>出発点 (H30) : 112t</p> <p>直近値 (R元) : 105.5t</p> <p>到達目標 (R2) : 120t</p> <p>目標 (R5) : 120t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>販売量 (R2.12月末) : 70.1t (対前年同期比 88.4%)</p> <p>○生産力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産組合の定例総会の開催（事業計画等の協議）(5/12)</li> <li>・新たな生産者候補の技術研修の実施 (新規就業者支援事業 : 7/1～)</li> <li>・地域林業総合支援事業によるウバメガシの搬出作業道の開設 (9/1～)</li> </ul> <p>○原木（ウバメガシ）の安定的な確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウバメガシ林の造成の検討会の実施 (11/2)</li> <li>・植樹祭の開催による啓発活動の実施 (11/14)</li> <li>・ウバメガシ林の択伐方式の技術研修の受講 (11/27)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○原木（ウバメガシ）の安定的な確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山林の確保に向けた関係先との調整 ⇒県、町、組合三者間連絡会議の継続実施</li> <li>・長期的な視野に立った資源の造成 ⇒ウバメガシ搬出作業道の整備 ⇒ウバメガシ林の造成の検討 ⇒ウバメガシ林の択伐方式の技術の習得</li> <li>・製炭事業や山林資源の活用について地域に知ってもらう啓発活動 ⇒植樹祭での啓発活動</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○生産の安定化と増産、品質の確保、販路拡大  ⇒生産性の向上を目指した意識付け、知識・技術の習得  ⇒新型コロナウイルスの影響で直売の取引が減少、新たな取引先の確保</p>
<p>■No.6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト (宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・宿毛市</p> <p>◎・(一社) スタートアグリカルチャーすくも</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA 高知県 (幡多地区)</li> <li>・(一社) 宿毛市観光協会</li> <li>・他関連事業者</li> </ul>	<p>[指標]</p> <p>(1)イチゴ生産量  出発点 (H30) : 48t  直近値 (R 元) : 44t  到達目標 (R2) : 51t  目標 (R5) : 63t</p> <p>(2)イチゴ生産者戸数  出発点 (H30) : 9 戸  直近値 (R 元) : 10 戸  到達目標 (R2) : 10 戸  目標 (R5) : 15 戸</p> <p>(3)文旦栽培面積  出発点 (H30) : 90ha  直近値 (R 元) : 90ha  到達目標 (R2) : 90ha  目標 (R5) : 96ha</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1)イチゴ生産量 (R2. 12 月分のみ) : 2. 34t  (対前年同期比 68. 9%)</p> <p>※収穫は 12 月～</p> <p>(2)イチゴ生産者戸数 (R2. 12 月末時点) : 10 戸  (対前年同期比 111. 1%)</p> <p>(3)文旦栽培面積 (R2. 12 月末時点) : 90ha  (対前年同期比 100%)</p> <p>○生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立用のハウスおよび研修生の確保に向けた継続的な取り組み</li> <li>・農業業務に従事する地域おこし協力隊の着任 (6 月～)</li> <li>・東京の池袋サンシャインシティで開催された「新・農業人フェア 農業 EXPO」にオンラインに参加 (9/27、11/14)</li> </ul> <p>○商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すくも文旦フェア 2020 へ参加 (フェア期間 : 3～4 月下旬)</li> <li>・スタートアグリカルチャーすくもで生産したイチゴのジャ</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>ムが宿毛市ふるさと納税返礼品に採用 (9月～)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産体制の強化 ⇒イチゴ農業研修生の確保及び研修、研修生などの用地(ハウス)の確保支援</li> <li>・加工品の開発・販売の強化 ⇒農家及び市内事業者との製造方法等検討、商談会等への参加</li> </ul>
<p>■No.7 すくも湾漁協による水産物の加工・販売(宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すくも湾漁業協同組合</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※1～12月</p> <p>出発点(H30): 3,399万円</p> <p>直近値(R元): 3,575万円</p> <p>到達目標(R2): 3,400万円</p> <p>目標(R5): 5,000万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R2.12月末): 2,295万円(対前年同期比86.7%)</p> <p>※漁船漁業の漁獲量減少や、コロナウイルスの影響による魚価の低迷及び商品発注量の減少のため</p> <p>○養殖魚の加工品販売に注力することで売上高の減少をカバーしている。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染拡大の影響による売上の低下及び商品の生産量の減少 ⇒コロナウイルスの影響を加味しながら、顧客のニーズに対応した加工品の開発を行い、売上向上を目指す。</li> </ul>
<p>■No.8 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売(宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)勇進</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30): 1.7億円</p> <p>直近値(R元): 2.95億円</p> <p>到達目標(R2): 3億円</p> <p>目標(R5): 5億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R2.5～11月): 2.21億円(対前年同期比158%)</p> <p>※取引増のため</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外大手スーパーマーケット、県外外食関係事業者などへの販促活動の継続実施</li> <li>※コロナで中止となった商談会：2件</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上アップに向けた新たな取引先の獲得 ⇒商談会や催事等への積極的な参加</li> <li>⇒取引先の拡大に向けた県外での営業活動の強化</li> <li>⇒海外の新規取引予定業者との交渉の促進</li> <li>・衛生管理体制の確立 ⇒県版 HACCP 第3ステージ認証取得に向けた社員教育の実施</li> <li>・生産体制の充実、強化 ⇒責任者の配置、人材育成の強化</li> </ul>
<p>■No.9 宿毛湾のキビナゴ加工商品等の販売拡大(大月町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・八重丸水産(株)</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高(9~8月)</p> <p>出発点(R元)：2,855万円※H30.9~R元.8</p> <p>到達目標(R2)：3,000万円</p> <p>目標(R5)：3,400万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R元9月~R2.8月)：2,566万円 (対前年同期比89.8%)</p> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キビナゴ関連商品の製造、取引先への継続的な出荷</li> <li>・海と日本プロジェクトへの参加</li> <li>・展示商談会：ジャパン・インターナショナル・フーズショー(9/30~10/2)</li> <li>・イベント出店：大月・三原のごちそうマルシェ(11/21~22)</li> </ul> <p>○新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マグロやタイを使用した商品開発</li> <li>・きびなごローストの販売開始(11/21~)</li> </ul> <p>○衛生管理機能及び作業効率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用による原魚処理場の改修及び設備導入(2月着工予定)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増益に向けた、既存商品の改良及び販路拡大 ⇒既存商品のバリエーション化に合わせた原価率の改善、高</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>利益率商品の販路拡大、商品の一部を内製化するための設備導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キビナゴの不漁による原料価格の高騰</li> </ul> <p>⇒キビナゴ以外の地域の水産資源も活用することとし、鮮魚便を返礼品として、ふるさと納税制度を活用</p>
<p>■No. 10 宿毛湾の干物等水産加工品の販売拡大（大月町）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・土佐大月海産</p> <p>※地域産業クラスター関連（宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト）</p>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高（12月決算期※）※1～12月</p> <p>出発点（H30）：2,602万円 ※H30.1月～12月</p> <p>直近値（R元）：2,888万円</p> <p>到達目標（R2）：3,000万円</p> <p>目標（R5）：3,300万円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>売上高（R2.1～11月）：2,459万円（対前年同期比91.6%）</p> <p>○販促営業、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ、インターネットを通じた継続的な販売</li> <li>・客船業界への納品継続（船内昼食メニュー）</li> <li>・通年用リーフレットの配布（ふるさと納税返礼品に同封）</li> <li>・お中元商品のDM発送、宣伝・販売</li> </ul> <p>○既存商品の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品ラインナップの充実（塩麴漬）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益率が高い個人顧客の獲得（新規・リピーター）</li> </ul> <p>⇒ふるさと納税を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品提供の安定化</li> </ul> <p>⇒養殖魚を活用した商品の検討</p>
<p>■No. 12 宿毛市特産直七の生産・加工・販売の促進（宿毛市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・直七生産(株)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直七の里(株)</li> </ul>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高</p> <p>出発点（H30）：2,900万円</p> <p>直近値（R元）：2,401万円</p> <p>到達目標（R2）：5,000万円</p> <p>目標（R5）：9,400万円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>売上高（R2.4～11月）：2,960万円（対前年同期比134.1%）</p> <p>※取引増のため</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり補助金を活用した搾汁機械の改修</li> </ul> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外大手スーパーマーケット、県外外食関係事業者などへの販促活動の継続実施</li> <li>・県内外に店舗をもつ飲食店事業者が直七の卸売事業を開始(10月～)</li> <li>・大手飲料メーカーから直七果汁を使用したチューハイを昨年に引き続き発売(10月)</li> <li>・10月7日「直七の日」に合わせて宿毛市内にてフェアを開催</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原料(直七)供給の安定化 ⇒生産者に対する栽培技術の共有</li> <li>・果汁搾汁率の向上 ⇒搾汁機械改修</li> <li>・新たな取引先の獲得 ⇒商談会や催事等への積極的な参加 ⇒青玉出荷の検討および体制の確立</li> </ul>
<p>■No. 13 幡多地域における昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進(宿毛市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)菱田ベーカリー</li> </ul>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30): 4,567万円</p> <p>直近値(R元): 3,842万円</p> <p>到達目標(R2): 6,000万円</p> <p>目標(R5): 9,000万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R2.4～10月): 2,068万円(対前年同期比87.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十川流域9つの事業者によるポータルサイト「一人商店しまんと」オープン(7/14)</li> <li>・高知県産品商談会出展(10/27、11/25)</li> <li>・第9回ものづくり総合技術展出展(11/5～6)</li> </ul> <p>○生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興アドバイザー(課題解決型)による県版HACCP第3ステージ認証取得支援(6月～)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和レトロをコンセプトとした商品開発および販路開拓</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒県内外の展示会、商談会への出展や営業活動による外商の 取り組みの強化、テストマーケティングの実施 ・衛生管理体制の充実 ⇒従業員確保および県版 HACCP 第3ステージの定着に向けた 従業員教育の実施
<p>■No. 14 土佐清水メジカ関連産業再生構想            の推進（土佐清水市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・土佐清水食品(株)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水鰹節水産加工協同組合</li> <li>・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会</li> <li>・土佐清水市</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[指標]</p> <p>土佐清水食品(株)の売上高</p> <p>出発点 (H30) : 18.5 億円</p> <p>直近値 (R 元) : 18.7 億円</p> <p>到達目標 (R2) : 20.6 億円</p> <p>目標 (R5) : 23.6 億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>土佐清水食品(株)の売上高 (R2.10月末) : 11.0 億円</p> <p>○経営戦略の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会 (5/29)</li> <li>・土佐清水HD(株)、土佐食(株)、(株)土佐清水元気プロジェクトが土佐清水食品(株)として合併 (R 元.10月)</li> </ul> <p>○原魚確保、生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍保管施設の運用開始 (H31～)</li> <li>・共同加工施設、残渣処理施設の整備            →12月残渣処理施設 試運転開始</li> </ul> <p>○商品開発及び販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品「スープブロス」の販売を道の駅「めじかの里」とHPで開始 (H30.4月～)</li> <li>・「スープブロス」製造ラインの整備 (11月着工)            産業振興総合支援事業費補助金(一般事業(特別分))による施設整備の実施</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業を活用したエアシャワー等の導入による衛生管理の強化 (1月着工予定)</li> <li>・宗田節ロードスタンプラリー (R 元.7/1～R3.3/31)</li> <li>・R2年度宗田節祭り中止</li> <li>・高知駅前イベント試食販売 (7月)</li> <li>・道の駅めじかの里で試飲販売 (11月各週末)</li> <li>・宝塚北サービスエリアでの販売 (10月)</li> <li>・サンリバー四万十イベント試食販売 (11月)</li> <li>・海外とのオンライン商談 (11月)</li> <li>・SNSを活用した商品PR (1月～)</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料となる原魚の確保 ⇒冷凍保管施設の利用促進による原魚在庫の安定化</li> <li>・新商品「スープブロス」の市場流通に向けた製造ラインの整備 ⇒大量生産のための製造設備整備の実施</li> <li>・市民の宗田節の日常利用の促進 ⇒市民向けプロモーションの展開（料理教室など）</li> <li>・衛生管理の維持・向上 ⇒衛生管理研修会等への参加、スープブロス製造ライン整備を実施し、衛生管理を強化</li> <li>・商品力の強化と販路拡大に向けた取り組みの強化 ⇒市場ニーズに対応した商品づくりの継続的な展開</li> </ul>
<p>■No. 15 宗田節だし加工商品の販路拡大の促進（土佐清水市）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)ウェルカムジョン万カンパニー</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※1～12月</p> <p>出発点（H30）：8,516万円</p> <p>直近値（R元）：8,672万円</p> <p>到達目標（R2）：8,813万円</p> <p>目標（R5）：1億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高（R2.1～10月）：6,215万円（対前年同期比90.9%）</p> <p>○外商活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品 宗田節おかきカレー味の販売（4月）</li> <li>・個別商談（東京都7月）</li> <li>・グルメ&amp;ダイニングスタイルショーへの出展（10月）</li> <li>・高知県産品商談会への参加（11月）</li> <li>・オンライン商談会へ参加（11月）</li> </ul> <p>○商品開発・改良</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金を活用した機器導入及び衛生管理の強化（1月着工）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな販路の開拓 ⇒県外での商談会や催事等への参加</li> <li>・既存商品の磨き上げ ⇒家庭料理向け商品の改良</li> <li>・映像を活用した商品紹介手法の開発（新しい生活様式への対応） ⇒産業振興アドバイザー（課題解決型）の活用、商品PR動画</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理の維持・向上</li> </ul> <p>⇒衛生管理研修会等への情報提供</p>
<p>■No. 16 幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築（土佐清水市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・土佐清水活性化組合（(株)郷土活性化組合）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水外商流通組合</li> <li>・土佐清水市</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト、宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト）</p>	<p>[指標]</p> <p>出荷事業者数</p> <p>出発点（R元）：33事業者</p> <p>直近値（R元）：33事業者</p> <p>到達目標（R2）：36事業者</p> <p>目標（R5）：50事業者</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>出荷事業者数（R2.11月末）：29事業者</p> <p>○流通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の拠点（土佐清水活性化組合）で集荷、混載による輸送の効率化</li> </ul> <p>○地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会（5/29）</li> <li>・「土佐清水ワールド」全店舗営業再開（6月～）</li> <li>・「幡多バル」3店舗閉店（11月）</li> <li>・ふるさと納税への出品開始</li> <li>・土佐清水薫焼きワールドオープン（12/12）</li> <li>→1月から鰹の薫焼き体験開始</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流通システムの構築</li> <li>⇒生産者や加工事業者が事業推進に参加しやすい仕組みづくり</li> <li>⇒活魚輸送の効率化、輸送コストの削減等に向けた輸送方法の検討</li> <li>・地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進</li> <li>⇒生産者や加工事業者との連携の仕組みづくり</li> <li>⇒お客様のニーズ、新しい生活様式に合った新商品、販売方法の検討</li> </ul>
<p>■No17 宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化（土佐清水市）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)たけまさ商店</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[指標]</p> <p>(1)売上高※8～7月</p> <p>出発点（R元）：7,400万円</p> <p>到達目標（R2）：7,765万円</p> <p>目標（R5）：9,600万円</p> <p>(2)体験者数※8～7月</p> <p>出発点（R元）：200名</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>到達目標 (R2) : 250 名 目標 (R5) : 700 名</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>(1)売上高 (R2. 11 月末) : 1, 323 万円 (対前年同期比 50. 3%) (2)体験者数 (R2. 11 月末) : 47 人 (対前年同期比 60. 3%) ※いずれも新型コロナウイルス感染症拡大の影響</p> <p>○生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興推進総合支援事業費補助金 (一般事業) を活用した宗田節加工販売・体験観光施設の整備 (11/4 着工、2 月末竣工予定)</li> <li>・県版 HACCP 第 3 ステージ認証取得へ向けた取り組み →講習会への参加 2 回</li> </ul> <p>○販路拡大に向けたスキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐 MBA の受講 (7~11 月)</li> <li>・刃物メーカーと連携した鯉節削り体験セットの販売 (4 月~)</li> <li>・スマホ動画セミナー受講 (11 月)</li> <li>・オンライン商談会参加 (11 月)</li> <li>・オンライン商談セミナー参加 (12 月)</li> </ul> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興アドバイザー (課題解決型) の活用による新施設で販売する新商品の開発 (1 月~)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産体制、衛生管理体制の確立 ⇒宗田節加工販売・体験観光施設の円滑な整備、運営 ⇒県版 HACCP 第 3 ステージ認証取得</li> <li>・販売拡大 ⇒新施設での販売拡大 ⇒産業振興アドバイザー (課題解決型) の活用</li> </ul>
<p>■No. 18 西土佐産栗の地産外商の推進 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)しまんと美野里</li> </ul>	<p><b>[指標]</b></p> <p>(1)売上高 (6~5 月)</p> <p>出発点 (H30) : 1, 250 万円 直近値 (R 元) : 1, 200 万円 到達目標 (R2) : 1, 200 万円 目標 (R5) : 2, 000 万円</p> <p>(2)生栗の仕入量 (6~5 月)</p> <p>出発点 (H30) : 7. 8t 直近値 (R 元) : 6. 8 t</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>到達目標 (R2) : 7.6t 目標 (R5) : 10.0t</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>(1)売上高 (R2.12月末) : 544万円 (対前年同期比 73%) ※コロナの影響により、前年より減少している。 ※会計年度 6～5月</p> <p>(2)生栗の仕入量(R2.12月末) : 6.8t (対前年同期比 100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とさのさと「実りの感謝祭」出展 (11/7～8)</li> <li>・ネット販売を通じた販売拡大</li> <li>・Instagram を活用した情報発信</li> <li>・農家へ害虫対策の情報共有</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な栗の仕入れ ⇒市、JA 高知県 (幡多地区) など関係機関との連携強化 (西土佐農商工連携検討会での定期的な協議など) ⇒モデル栗園の円滑な整備 ⇒栗栽培の先進地視察 ⇒集荷農家の増加に向けて、作業道整備や獣害対策網の設置等の実施 ⇒大学生や地域おこし協力隊等を活用した収穫時期における人手不足対策の検討</li> </ul>
<p>■No. 19 四万十牛の生産・加工・販売体制の強化 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)四万十牛本舗</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西土佐中央牧場</li> <li>・地域事業者</li> </ul>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高</p> <p>出発点 (H30) : 1億9,000万円 直近値 (R元) : 1億9,453万円 到達目標 (R2) : 2億3,544万円 目標 (R5) : 2億6,800万円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>売上高 : (R2.10月末) : 9,900万円 (対前年同期比 89%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はれのば」への屋台 (テナント) 出店 (焼肉店) (4月～)</li> <li>・第11回神戸市西部市場銘柄和牛共進会優良賞受賞 (9月)</li> <li>・よって!しまんと美味しんぼ祭り出展 (10/25)</li> <li>・ふるさとまつり出展 (11/13～15)</li> <li>・土佐清水市産業祭出展 (12/5)</li> <li>・西部家畜保健衛生所による主に生産面に関する支援</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(月1回程度訪問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな加工販売施設の整備(産業振興総合補助金を活用) (R3.1.29内覧会 R3.1.30オープン)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育頭数の拡大 ⇒畜舎増設に向けた検討</li> <li>・県版HACCP第3ステージ認証取得に向けた研修等への誘導 ⇒新たな加工販売施設での県版HACCP第3ステージ認証取得に向けた支援</li> <li>・ブランド化に向けた取り組み ⇒ブランド化に向けた協議の場づくりの検討 ⇒新店舗で販売する商品開発や店舗のPR及び販促活動の強化</li> <li>・売上拡大に向けた道の駅などでの加工品の販売促進 ⇒消費者ニーズに対応した継続的な商品づくり ⇒道の駅等での商品の売り方検討(BBQ等) ⇒西土佐地域産業振興推進協議会での事業者連携計画づくりの検討</li> </ul>
<p>■No.20 売り出せ西土佐プロジェクト推進 (拠点ビジネス)(四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)西土佐ふるさと市 ・四万十市</p>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30):1億6,400万円</p> <p>直近値(R元):1億6,969万円</p> <p>到達目標(R2):1億6,700万円</p> <p>目標(R5):1億7,300万円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>売上高(R2.12月末):1億1,600万円(対前年同期比85%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営会議の開催(6回)</li> <li>・「水々しいオンライン市場」オープン(5月)</li> <li>・アツイまちサミットへの参加(6/6)</li> <li>・さとうみまんまるマルシェ(7/18~7/19)</li> <li>・BBQジャンボリーしまんと(8/29)</li> <li>・よって!しまんと美味しんぼまつり(10/25)</li> <li>・四万十川流域フェスタ(11/8)</li> <li>・ふるさとまつり(11/13~11/15)</li> <li>・沖縄県道の駅許田物販交流</li> <li>・青森県道の駅つるた物販交流</li> <li>・秋田県道の駅しょうわ物販交流</li> <li>・北海道道の駅あさひかわ物販交流</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>・愛媛奥伊予スイーツ街道への参加 (4/18～11/30)</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>・店舗の売上げの拡大  ⇒運営会議の継続的な開催 (情報共有及び改善点への対応協議等)  ⇒新メニュー等の開発支援、設備導入への支援メニューの情報収集  ⇒集客アップのためのイベント等の開催  ⇒スタッフのスキルアップのため、土佐 MBA (商人塾等) 受講への誘導  ⇒西土佐地域産業振興推進協議会での事業者連携計画づくりの検討</p>
<p>■No. 21 四万十地域の素材を活用した加工商品の外商強化 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎ ・しまんと百笑かんぱに(株)  ・四万十市地域商品研究会</p>	<p><b>[指標]</b></p> <p>しまんと百笑かんぱに(株)の売上高  出発点 (H30) : 4,844 万円  直近値 (R 元) : 4,056 万円  到達目標 (R2) : 8,337 万円  目標 (R5) : 1 億円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>しまんと百笑かんぱに(株)の売上高 (R2. 12 月末) :  2,430 万円 (対前年同期比 68%)</p> <p>※コロナ禍による売上減のため</p> <p>○自社商品の開発強化  ・野菜ドリップシリーズ</p> <p>○生産体制の強化  ・製造人員は R 元年度と同体制  新型コロナウイルスの影響により、売上が減少していることと従業員の感染予防対策のため勤務態勢を見直し、雇用する人員数には変更がないものの、1/3 の人員で製造する体制で稼働している</p> <p>○販売拠点整備と販路拡大  ・新たな県内宿泊施設 (7daysHotel) での取り扱い開始 (6 月～)</p> <p>・ポータルサイト「一人商店しまんと」開設 (7 月)  (株)四万十ドラマとのコラボ企画。オンライン商談会が行えるポータルサイトで、無添加商品の販売を行っている幡多管内の企業 9 社が参画。</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 62 回大阪インターナショナル・ギフトショー(9/17~18)</li> <li>・第 4 回日本の食品輸出 EXPO(10/14~15)</li> <li>・大手カタログギフト「ミルポッシュェ」との取引開始 (11月~)</li> <li>・クリスマスサービス上での四万十市フェア開催(12/20~1/10)</li> <li>・rooms tradeshow(随時オンライン)</li> <li>・第 15 回地方銀行フードセレクション(随時オンライン)</li> <li>・通販サイト GRADD、トランクホテル、サンクゼール等との取引継続</li> <li>・米国食品安全強化法(FSMA)への対応 将来的な米国への輸出を視野に入れ対応を検討</li> </ul> <p>○四万十市地域商品研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市との実施計画及び予算の協議</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスによる売上減の回復 ⇒商談会への参加、通販サイトでの商品提案</li> <li>・都市部で訴求力のあるライフスタイル提案型商品の開発</li> <li>・高付加価値路線への販路拡大 ⇒ソムリエ等都市部の専門家との協業 ⇒新たな地域素材の情報収集</li> <li>・四万十市地域商品研究会の活動強化 ⇒活動内容及び運営形式の見直し</li> </ul>
<p>■No. 22 幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WAN LIFE</li> </ul>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高</p> <p>出発点 (H30) : 2,064 万円</p> <p>直近値 (R 元) : 3,040 万円</p> <p>到達目標 (R2) : 3,500 万円</p> <p>目標 (R5) : 6,000 万円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>売上高 (R2.9 月末) : 2,700 万円 (対前年同期比 120%)</p> <p>※通販・ふるさと納税が好調のため</p> <p>○商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猫関連商品 東富山地域のまたたびで試作品を作成中。</li> <li>・レトルト商品(犬用) 宿毛市の工場と契約、大手食品流通会社に卸す商品として R3 年度に向け準備中</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>※ものづくり補助金(宿毛市の工場が申請)採択待ち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐がも商品(犬用)</li> </ul> <p>(株)土佐ナチュラルフーズと提携。パッケージ完成次第販売開始</p> <p>○事業効率向上策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R元から引き続き外部委託やIT導入等による製造及び受発注工程の簡素化により業務効率の向上に繋がっている</li> </ul> <p>○販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大手定期便販売ポータルサイトでの販売(4サイト)</li> <li>・コロナの影響もあり、通販での売上が伸びている</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の増加 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒通販サイト及びふるさと納税のさらなる強化</li> <li>⇒自社定期便の開発</li> </ul> </li> <li>・県産原材料の確保による新商品展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒猫関連商品の原材料のまたたびは、自社栽培も検討。</li> </ul> </li> <li>・従業員の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>(社長と共に営業/運営等の業務を担える人材の確保)</li> <li>⇒今後時期をみて、新規従業員の必要性・人材発掘の方法を検討</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 23 四万十の地域食材を活用した商品開発・製造・販売の促進(四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)LLPしまんと</li> </ul>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30): 2,584万円</p> <p>直近値(R元): 2,150万円</p> <p>到達目標(R2): 2,400万円</p> <p>目標(R5): 3,500万円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>売上高(R2.11月末): 1,626万円(対前年同期比108%)</p> <p>○販路開拓及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータルサイト「一人商店しまんと※」への参画(R2.7開設)</li> <li>・※しまんと百笑かんぱに(株)と(株)四万十ドラマが中心となり開設した、オンライン商談会が行えるポータルサイト。無添加商品の販売を行っている幡多管内の企業9社が参画。</li> </ul> <p>○商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品ボカ(黒砂糖)かりんとう 販売(9月)</li> <li>・ボカ(黒砂糖) 販売(9月)</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソイチップス 開発中</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員確保 ⇒高知求人ネットの活用、市内高校への求人情報の提供</li> <li>・生産効率の向上 ⇒HACCP 第3ステージ認証取得に向けた設備導入の検討</li> <li>・売上の増加 ⇒PB・OEMの受注PRも含めた営業活動の展開 ⇒商談会等への出展の強化 ⇒通販販売の展開</li> </ul>
<p>■No. 24 幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進 (四万十市) 《実施主体》 ・(有)和</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高 ※6～5月      出発点 (H30) : 2,288万円      直近値 (R元) : 1,277万円      到達目標 (R2) : 2,300万円      目標 (R5) : 3,500万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R2.11月末時点) : 472万円 (対前年同期比29%)      ※コロナ禍による売上減のため</p> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規取引(株)JALUX、(株)タイムバンク</li> </ul> <p>○商品開発及び改良</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しまんとポークやはちきん地鶏を使ったハンバーグの開発 新機械導入の検討</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内スーパーへの既存商品の出荷を強化</li> <li>・通販での販売促進の検討(新型コロナウイルスの影響をうけて)</li> <li>・新施設建設の検討(R4年度頃をめど)</li> <li>・県版 HACCP 第2ステージ認証取得(8月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売先の確保 ⇒新型コロナウイルスの影響により、主要取引先であった居酒屋への卸しが激減。通販サイト等での販促活動を検討。</li> <li>・生産拡大・効率化や衛生管理の徹底のための環境づくり ⇒県版 HACCP 第3ステージ認証取得に向けた取り組みの強化</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 地域商業活性化拠点「はれのば」 を核とした中心市街地の活性化 (四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・四万十市中心商店街活性化協議会 ◎・四万十にぎわい商店(株) ・四万十市</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 中心商店街エリア内の売上額 出発点 (R元) : 8億3,100万円 到達目標 (R2) : 8億8,996万円 目標 (R5) : 9億1,411万円</p> <p>(2) 中心商店街エリア内の通行量 出発点 (H26~30平均) : 平日5,226人、休日4,036人 到達目標 (R2) : 平日5,421人、休日4,189人 目標 (R5) : 平日6,005人、休日4,647人</p> <p>(3) 新規出店者数 出発点 (R元) : 0店舗 到達目標 (R2) : 2店舗 目標 (R元~5累計) : 8店舗</p> <p>(4) 売上額 (四万十にぎわい商店(株)) 出発点 (R元) : 0円 到達目標 (R2) : 1,761万円 目標 (R5) : 1,861万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 中心商店街エリア内の売上額 : - (※集計待ち) (2) 中心商店街エリア内の通行量 : 平日5,824人 休日3,244人 (3) 新規出店者数 (R2.12月末時点) : 7店舗 (4) 売上額 (四万十にぎわい商店(株))(R2.12月末時点) : 1,211万円</p> <p>○推進組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十にぎわい商店(株)取締役会にて随時情報共有 (月1回開催)</li> <li>・チャレンジショップ事業運営会議にて情報共有 (月1回開催)</li> <li>・四万十市中心商店街活性化協議会開催 (10/13)</li> </ul> <p>○事業効果を高める仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はれのば主催イベント1件 半年遅れのオープニングイベント (10/23~11/1)</li> <li>・持ち込みイベント3件 恋に前向き!女子NOVA(10/11) 第1回四万十 e-sports 大会ストリートファイターV(10/17) 秋の夜長にいい眠りでいい笑顔(10/23~10/24)</li> <li>・はれのばPR動画(10月公開)</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>※四万十市新型コロナウイルス感染症対策商店街等活性化事業費補助金を活用(採択済)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点施設の情報発信 地域情報紙「はたも〜ら」vol158 自転車雑誌「バイシクルクラブ」10月号 「cafe n2」Instagram フォロワー数1,050名(11月末時点) Instagramを活用した「はれのばフォトコンテスト」(10月)</li> <li>・その他 「GOOD DESIGN AWARD2020(日本デザイン振興会)」グッドデザイン賞受賞(10月) 「日本空間デザイン賞2020(日本空間デザイン協会・日本商環境デザイン協会)」銅賞受賞(10月)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街と連携した経済効果の創出 ⇒店舗の相互紹介サービスの実施とマップの作成 まちのポータルサイトの新規開設</li> </ul>
<p>■No.26 道の駅「ふれあいパーク・大月」を基盤とした産業振興と賑わいの創出(大月町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎・(一財)大月町ふるさと振興公社</li> <li>◎・大月町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高(3月決算期)</p> <p>出発点(H30):1億9,400万円 直近値(R元):2億700万円 到達目標(R2):2億3,000万円 目標(R5):2億5,000万円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>売上高(R2.4~11月):1億3,670万円 (対前年同期比96.8%)</p> <p>○地場産品総合販売ビジネス(ファンづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等への出店(県内2回)</li> <li>・ギフトカタログ等での販売(夏:6~10月、冬:11~4月)</li> <li>・産業振興アドバイザー(課題解決型)の活用による来店者の満足度向上に向けた受入体勢の強化(4回) (一財)大月町ふるさと振興公社</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来店者の満足度向上 ⇒スタッフへの研修及び接客マニュアルの整備</li> <li>・商品のPR強化やふるさと納税からのリピーターの獲得 ⇒通販サイトの移行や機能の拡充</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 27 三原村のどぶろくによる地域活性化 (三原村)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐三原どぶろく (同)</li> </ul>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高 (6～5 月期)</p> <p>出発点 (H30) : 1,479 万円</p> <p>直近値 (R 元) : 1,463 万円</p> <p>到達目標 (R2) : 1,600 万円</p> <p>目標 (R5) : 1,900 万円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>売上高 (R2. 6～9 月末) : 195 万円 (対前年同期比 61.5%)</p> <p>※総じて新型コロナウイルスの影響 (店舗や卸先の休業、イベントの中止等) により売上減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売促進活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>さとうみまんまるマルシェ (7/18、19)、三原村特産品フェア (10/3、4)、ふるさとのえいもん集マルシェ (10/18)、ふるさと祭り (11/13～15)、大月・三原のごちそうマルシェ (11/21、22)</li> </ul> </li> <li>・中筋川ダムでのどぶろく貯蔵</li> <li>・コロナ応援キャンペーンの実施 (5 月)</li> <li>・三原村スタンプラリーの開催 (11/3～1/31)</li> <li>・先進地視察 <ul style="list-style-type: none"> <li>企業組合いわまつ (7/1)、Eyo Tokushima in Japan (11/24)</li> </ul> </li> <li>・ニッポン全国お取り寄せ応援フリマ情報誌への掲載</li> <li>・新商品 (どぶろく用の麴を使った甘酒) 開発、販売 (10 月～)</li> <li>・よろず支援拠点アドバイザー招へい (9/23、11/11)</li> <li>・どぶろく農家ごとの高知県版 HACCP 第 2 ステージ認証取得 (6 軒中 4 軒済み)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの影響による売上の減少 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒新商品の試作研究及び製造体制の整備検討</li> </ul> </li> <li>・衛生管理体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒一般衛生管理マニュアルの作成</li> </ul> </li> <li>・既存取引先との取引再開及び販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒SNS の活用及び展示・商談会への参加</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 28 三原産トマトを中心とした加工・販売の推進 (三原村)</p> <p>《実施主体》</p>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高 (12 月～11 月期)</p> <p>出発点 (H30) : 9,395 万円 (H30. 4 月～H31. 3 月期)</p> <p>直近値 (R 元) : 9,425 万円 (H30. 12 月～R 元. 11 月期)</p> <p>到達目標 (R2) : 9,550 万円</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・(株)ベストグロウ</p>	<p>目標 (R5) : 1 億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R 元. 12~R2. 10 月末) : 9,852 万円 (対前年同期比 116.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売促進活動の展開 三原村特産品フェア (10/3~4)、ふるさとのえいもん集マルシェ (10/18)、ふるさと祭り (11/13~15)、大月・三原のごちそうマルシェ (11/21~22)</li> <li>・商談会への参加 まるごと高知商談会 (9/3)</li> <li>・コロナウイルス対策に向けた職場環境整備</li> <li>・JAL 国内線ファーストクラスの飲料として採用 (ジュース)</li> <li>・あぐり窪川エヴァンゲリオン展の塩トマトゼリーとして採用 (ピューレ)</li> <li>・県版 HACCP 第 3 ステージ認証取得に必要な書類作成講習会への参加 (9/14)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの影響による加工場の稼働率低下 ⇒取引先との関係継続に向けた情報交換及び取引再開</li> <li>・加工品の販路拡大 ⇒オンライン商談会等、新たな商談形態への迅速な対応</li> <li>・県版 HACCP 第 3 ステージ認証取得 ⇒担当者の職場復帰後、書類整理及び提出</li> </ul>
<p>■No. 29 黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進 (黒潮町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>・(有) ソルティープ</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高 (3~2 月)</p> <p>出発点 (H30) : 2,195 万円</p> <p>直近値 (R 元) : 2,547 万円</p> <p>到達目標 (R2) : 2,411 万円</p> <p>目標 (R5) : 2,823 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R2. 10 月末 (3~10 月)) : 2,047 万円 (対前年同期比 117%)</p> <p>○生産施設の拡大及び体験受入の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県版 HACCP 第 2 ステージ認証取得 (7/10)</li> <li>・PRP (一般衛生管理) 研修受講 (8/20)</li> <li>・HACCP 専門家派遣活用 (10/8)</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○販路開拓・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでの天日塩に関する講義を実施(7/22)</li> <li>・ファベックス関西参加(10/28～30)</li> <li>・高知県産品商談会参加(11/25)</li> <li>・新商品開発(原料提供)</li> </ul> <p>(高知クラフトコーラ「サワチナ」(県内事業者)、干し芋(県外事業者)、宗田節ぶらす(県内事業者))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界はほしいモノにあふれてる」(NHK)放映(11/26)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産体制のさらなる強化 ⇒人員不足等により、生産施設の拡大の検討に進捗なし</li> <li>・さらなる販路拡大に向けた県版 HACCP 第3ステージ認証取得及び販売促進</li> </ul>
<p>■No. 30 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進(黒潮町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)なぶら土佐佐賀</p> <p>・黒潮町</p>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30):2億1,628万円</p> <p>直近値(R元):2億1,576万円</p> <p>到達目標(R2):2億1,000万円</p> <p>目標(R5):2億2,600万円</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>売上高(R2.12月末(4～12月)):1億3,715万円 (対前年同期比79.3%)</p> <p>※新型コロナウイルスによる来客数減少のため</p> <p>○施設整備及び組織体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用による生産性・衛生環境向上のための空調改修及び情報発信力強化のための観光表示板改修 (2月着工予定)</li> <li>・HACCP研修受講(10月)</li> </ul> <p>○商品開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間限定商品(カマスフライ定食)発売(6月～)</li> <li>(三色丼、二色丼、生タタキのネギトロ丼)発売(10月～)</li> <li>・ランチパスポート高知版掲載(5～8月、8～11月)</li> <li>※6周年祭中止(4/5実施予定)</li> <li>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/29～5/6臨時休業、フードコートエリアは4/25～5/18臨時休業</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘客促進のための魅力ある店舗づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒町内関連施設との連携</li> <li>⇒幡多地域の観光情報等発信機能の強化</li> <li>⇒新商品の検討</li> <li>⇒市場調査(予定)</li> </ul> </li> <li>・平日の集客力強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒商品の品揃えの充実、商品アイテムや数量の増大、スペースの有効活用</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 31 黒潮町の地域産品を中心とした水産加工品等の販売促進（黒潮町）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)土佐佐賀産直出荷組合</li> </ul>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点 (H30) : 8,600 万円</p> <p>直近値 (R 元) : 9,196 万円</p> <p>到達目標 (R2) : 1 億 600 万円</p> <p>目標 (R5) : 1 億 3,031 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R2.12月末(3~12月)) : 9,227 万円 (対前年同期比 122%)</p> <p>※新商品、ふるさと納税の売上げ増加のため</p> <p>○商品開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品発売 <ul style="list-style-type: none"> <li>キハダマグロ青のりフライ、キハダマグロ竜田揚げ (4月~)</li> <li>キンメダイの煮付け・サバフグ切り身鍋用 (10月~)</li> </ul> </li> <li>・オンライン商談の実施(6月~)</li> <li>・産業振興アドバイザー(課題解決型)を活用した自社ネットショップへの集客の強化、情報発信の指導 (4回:6/16、7/14、10/13、12/22)</li> <li>・ヨシケイのメニューブック掲載</li> <li>・東京シーフードショー参加(9~10月)</li> <li>・フードスタイル(福岡)参加(11月)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用による生産性・衛生環境向上のための設備導入、新規商品のパッケージデザイン制作、オンライン商談のためのPC導入及びHP改修によるEC強化事業 (1月着工)</li> <li>・全商品県版 HACCP 第3ステージ認証取得に向け R2 年度中に申請予定</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人人材の活用 (4名雇用、1月～)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存取引先との関係強化 ⇒新商品開発による商品種類及び取引量の増大</li> <li>・情報発信力の強化 ⇒自社HP等を活用した商品情報の発信</li> <li>・コロナ禍に対応した販売促進 ⇒自社HP改修によるネット通販の利用促進等</li> </ul>
<p>■No. 32 黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進 (黒潮町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)黒潮町缶詰製作所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒潮町</li> </ul>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点 (H28～30 平均) : 7,600 万円</p> <p>直近値 (R 元) : 9,600 万円</p> <p>到達目標 (R2) : 9,598 万円</p> <p>目標 (R5) : 1 億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R2. 12 月末(4～12 月)) : 7,908 万円 (対前年同期比 118.9%)</p> <p>※ふるさと納税、ギフト商品の伸びによるもの</p> <p>○商品開発・販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン商談会への出店</li> <li>・とさのさと AGRICOLLETO への出店</li> <li>・ギフト商品の強化</li> </ul> <p>※例年出店している T シャツアート展 (10/31～11/3 に延期) への出店は無し・はだしマラソンは中止</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒持続的な社員教育の実施</li> <li>・県内外への販売促進強化 ⇒商談会への出店 ⇒ギフト商品の拡大</li> <li>・地域資源を活用した商品開発 ⇒黒潮町内に限らず県内の事業者との連携強化</li> </ul>
<p>■No. 33 幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト (幡多地域全域)</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 延べ宿泊者数</p> <p>出発点 (H30) : 398,797 人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社) 幡多広域観光協議会</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト、宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>直近値(R元): 416,420人  到達目標(R2): 400,000人  目標(R5): 443,000人</p> <p>(2)外国人延べ宿泊者数  出発点(H30): 12,101人  直近値(R元): 13,458人  到達目標(R2): 13,000人  目標(R5): 15,400人</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>(1)延べ宿泊者数: - (※年度末に集計)  (2)外国人延べ宿泊者数: - (※年度末に集計)</p> <p>○教育旅行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から8月までの予約分は全て中止または延期</li> <li>・新規含め合計30件の予約、15件取消、3件中止</li> <li>・7月から下見受入(9件)</li> </ul> <p>○商品造成・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行向け1件、団体向け商品7件、個人向け商品6件造成</li> <li>・土佐の観光創生塾の受講(7月)</li> <li>・観光地域づくり塾の受講(7~8月)</li> <li>・SHIMANTO ASHIZURI BusPassをジョルダンのモバイルチケット化  (新型コロナウイルス感染症の影響で延期(時期未定))</li> </ul> <p>○誘客促進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊って使えるクーポン事業の実施  (クーポン有効期限R2.8.1~R3.1.31)</li> <li>・OATAモニターツアー受入(8/5~6)</li> <li>・ワーケーションモニターツアー受入(11/16~17)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策チェックシート作成  (クーポン事業参画事業者に配布)</li> <li>・市町村営バス(宿毛市営定期船含む)の情報をグーグルマップに掲載(検索可能に)</li> <li>・高知西南交通のバス情報のGTFS-JP化</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周遊観光につなげる旅行商品づくり  ⇒観光地域づくり塾においてSDGsを切り口にした周遊観光商品づくり</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誘致促進に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒高知県、高知県観光コンベンション協会や市町村等と連携した誘致活動の継続</li> <li>⇒ICTを活用した観光誘客を推進（Instagram、HP、グーグルマイビジネス、GTFS-JP、キャッシュレス決済、Wi-Fi 整備等）</li> </ul> </li> <li>・関係団体と連携した組織強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒多様な関係者と連携し、日本版 DMO 法人登録を生かした観光地づくり</li> <li>⇒新型コロナウイルス感染症感染拡大を防ぐため業態ごとに作成したチェックシートを配布し、対策状況を HP で公開することで安全・安心を地域として PR</li> <li>⇒SATOUMI の事業者向け説明会開催（6 月）</li> <li>⇒パワーアップ研修の実施（7 月）</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 34 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化（幡多地域全域）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・（一社）幡多広域観光協議会</p> <p>・幡多 6 市町村及び観光協会等</p>	<p><b>[指標]</b></p> <p>延べ宿泊者数</p> <p>出発点（H30）：11,964 人</p> <p>直近値（R 元）：11,773 人</p> <p>到達目標（R2）：15,000 人</p> <p>目標（R5）：15,000 人</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>延べ宿泊客数（R2.12 月末）：2,507 人（対前年同期比 28.8%）</p> <p>※新型コロナウイルスによる減 （受入休止（県内 4/1～6/18、県外 4/1～7/22）など）</p> <p>○地域の受入態勢の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘致活動：県内（6/18～19） <ul style="list-style-type: none"> <li>四国地方（10/13～16）</li> <li>中国地方（10/20～24）</li> <li>中部・北陸地方（11/25～26）</li> </ul> </li> </ul> <p>○新型コロナウイルス感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入運営ガイドラインの作成</li> <li>・泊まってお得！黒潮町観光キャンペーン（8～12 月） キャンペーン対象プランを利用すると町内で利用できる商品券 2,000 円を交付</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工芝を含む施設等の PR 促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒継続的なプロモーション活動の促進</li> </ul> </li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツツーリズムに係る広域観光協議会及び各市町村の態勢の充実 ⇒受入態勢充実に向けた各市町村との連携強化</li> <li>・観光コンベンション協会や各種競技団体等の関係機関との連携強化 ⇒スポーツツーリズムに係る関係機関との協議の継続</li> <li>・地域の受入態勢づくり ⇒新たな集落活動センターとの連携</li> </ul>
<p>■No. 36 竜串地域の観光再生構想の推進 (土佐清水市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・竜串海洋観光クラスター推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水市</li> <li>・(一社)土佐清水市観光協会</li> <li>・(特非)NPO 竜串観光振興会</li> <li>・観光事業者</li> <li>・ガイド団体</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>入込客数(1~12月)  出発点(H30):8.7万人  直近値(R元):8.8万人  到達目標(R2):10.3万人  目標(R5):17万人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>入込客数(R2.1~10月末):16.5万人(対前年同期比209.3%)  ※新足摺海洋館 SATOUMI 開館による竜串地域への観光客数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○竜串地域の観光クラスターの取り組みの強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・竜串海洋観光クラスター協議会(5/26)</li> <li>・国立公園竜串エリア利用計画を進める会(5/26, 6/26, 11/27)</li> <li>・インバウンド対応勉強会(6月~)</li> </ul> </li> <li>○竜串地域での連携体制づくり(協議会等で協議) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぐるっと竜串」のロゴ作成</li> <li>・ランチマップ作成、改良</li> <li>・外国語(英語)相談窓口の開設</li> </ul> </li> <li>○スノーピーク土佐清水キャンプフィールドの誘客促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カツオのタタキ体験メニューの提供</li> <li>・地域業者と連携した地元食材の提供</li> <li>・地域業者と連携した星空ガイドの実施</li> <li>・ワーケーションキックオフイベントの開催(11月)</li> </ul> </li> <li>○新足摺海洋館 SATOUMI オープンと連携した取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興推進総合支援事業費補助金(外部人材活用支援事業(単独型))の活用による新足摺海洋館 SATOUMI の集客(プロモーション)活動の活性化に向けた外部人材の活用(~R3.3月)</li> <li>・足摺海洋館 SATOUMI 過去最多の入館者数10万人達成(10/25)</li> </ul> </li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竜串地域のランチマップの作成、改良</li> <li>・イベントと連動したスタンプラリーの実施</li> <li>・奇岩・祈願ポスト、ウミウシポストの設置</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルプロジェクトの円滑な推進 ⇒SNS の活用等による事業者相互の情報発信の強化</li> <li>・地元を巻き込んだキャンプ場運営推進体制の構築及び竜串ビジターセンター、足摺海洋館 SATOUMI オープンに向けた取り組みの強化 ⇒キャンプ場を活用した、地元食材の消費拡大、周辺アクティビティへの誘導等の仕組みの検討 ⇒ビジターセンターを拠点とするジオツアー造成に向けたモニターツアーの実施</li> <li>・体験型プログラムづくりに向けた事業者のスキルアップ及び人材育成 ⇒地域住民を主体としたインストラクターの育成</li> </ul>
<p>■No. 37 土佐清水まるごと戦略観光の展開 (土佐清水市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・土佐清水市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)土佐清水市観光協会</li> <li>・土佐清水ジオパーク推進協議会</li> </ul>	<p><b>[指標]</b></p> <p>入込客数 (1～12月)</p> <p>出発点 (H30) : 65.7万人</p> <p>直近値 (R元) : 66.5万人</p> <p>到達目標 (R2) : 67.5万人</p> <p>目標 (R5) : 75万人</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>入込客数 : - (※年度末に集計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ジオパークガイド登録者数 (3月末時点) R元目標 : 30人 (実績 : 28人) 11月末 : 28人 (対前年同期比 100%)</li> <li>○ジオツアー年間参加者数 R元目標 : 1,000人 (実績 : 128人) 11月末 : 44人 (対前年同期比 50.5%)</li> <li>○日本ジオパーク認定に向けた取り組みの強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水ジオパーク推進協議会総会 (4/7) の開催</li> <li>・土佐清水ジオパーク推進協議会臨時総会 (10/20)</li> <li>・観光拠点等整備事業補助金を活用した看板等の整備及びジオツアーの磨き上げ</li> </ul> </li> <li>○ビジターセンターオープンイベント <ul style="list-style-type: none"> <li>・新足摺海洋館 SATOUMI オープンイベントと連動したスタン</li> </ul> </li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>プラリー等への取り組み</p> <p>○足摺宇和海国立公園足摺エリア利用計画を進める会(4回開催)</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ジオパーク認定に向けた取り組み</li> <li>⇒より確実な認定を目指すため、R2年度の認定申請を見送り、R3年度の認定を目指す</li> <li>・推進体制の強化</li> <li>⇒継続した取り組みができる体制の確立</li> </ul>
<p>■No. 38 四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光推進(四万十市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)四万十市観光協会</p> <p>・四万十市</p>	<p><b>[指標]</b></p> <p>公共観光施設利用者数</p> <p>出発点(H30):143,785人</p> <p>直近値(R元):146,798人</p> <p>到達目標(R2):-</p> <p>目標(R5):170,000人</p> <p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>公共観光施設利用者数(R2):101,172人(対前年同期比69%)</p> <p style="text-align: right;">※1~12月</p> <p>※新型コロナウイルス感染症による減</p> <p>○イベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小京都七夕祭り(7/3~7)</li> <li>・小京都ゆかたDAY(7/7)</li> <li>・四万十川灯籠流し(8/8)</li> <li>・西土佐ミニツアー(8/30)</li> <li>・大文字の送り火(9/3)</li> <li>・不破八幡宮大祭(9/19)</li> </ul> <p>○しまんとリバーベキュープロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BBQ講演会(8/28)</li> <li>・SCA選手権 ※ステーキ・鮎コンテスト(8/29)</li> <li>・商品開発ワークショップ(9/9、10/10)</li> </ul> <p>○施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十ひろばカヌー館オートキャンプ場完成(4/20)</li> <li>・Shimanto+Terraceはれのぼ完成(4月)</li> </ul> <p>○関係団体との情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十市観光振興連絡会議定期総会(6/1 書面)</li> <li>・予土県境地域連携協議会(6/2 書面、7/30 書面)</li> </ul> <p>○産業振興アドバイザー(課題解決型)の活用によるインターネット・SNSを用いた情報発信(3回:6/2~6/3、6/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市公式Instagramフォロワー数</li> <li>483名(R2.6)→1,171名(R2.12月末時点)</li> </ul>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントの円滑な実施 ⇒ 県観光補助金(地域イベント関連)の活用</li> <li>・ 効果的な情報発信 ⇒ 市公式 Instagram をメインツールとして県外客へのPRに注力する</li> </ul>
<p>■ No. 39 大月町の地域資源を活用した観光振興(大月町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ・ 大月町観光協会</li> <li>◎ ・ 大月町 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内事業者・関連団体</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>入込客数</p> <p>出発点(H30): 5.3万人</p> <p>直近値(R元): 5.5万人</p> <p>到達目標(R2): 6.5万人</p> <p>目標(R5): 7万人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>入込客数(R2.11月末): 71,509人(対前年同期比159.1%)</p> <p>※ 柏島情報発信センターへの入込を指標に反映したため、増加している(R2.7~9月: 31,578人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業振興アドバイザー(課題解決型)の活用による「大月町観光協会中期計画」の策定(3回予定) (大月町観光協会)</li> <li>・ 大月エコロジーキャンプ場グランドオープン(7/23)</li> <li>・ 大月町秋の自然体験イベント実施(9~11月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光客の柏島への一極集中 ⇒ エコロジーキャンプ場の磨き上げやデータ収集・分析結果に基づいて、町内のほかの観光スポットへの誘客及び周遊促進を図る</li> </ul>
<p>■ No. 41 黒潮町の地域資源を活用した観光推進(黒潮町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ・ (特非)NPO 砂浜美術館</li> <li>◎ ・ (一社)黒潮町観光ネットワーク <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒潮町</li> </ul> </li> </ul>	<p>[指標]</p> <p>(1) 入込客数</p> <p>出発点(H30): 99.3万人</p> <p>直近値(R元): 101.5万人</p> <p>到達目標(R2): 100万人</p> <p>目標(R5): 100万人</p> <p>(2) 町内の延べ宿泊者数</p> <p>出発点(H30): 22,538人</p> <p>直近値(R元): 21,864人</p> <p>到達目標(R2): 23,939人</p> <p>目標(R5): 25,369人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p><b>[取り組み状況]</b></p> <p>(1)入込客数 (R2. 12 月末(4~12 月)) : 61.3 万人 (対前年同期比 75%)</p> <p>(2)町内の延べ宿泊者数 (R2. 12 月末(4~12 月)) : 9,334 人 (対前年同期比 51.6%)</p> <p>※新型コロナウイルスによる観光・旅行等の減少のため</p> <p>○地域の特性、資源を活用した体験型プログラムの造成・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興推進総合支援事業費補助金(外部人材活用支援事業(単独型))の活用による防災ツーリズム等の取り組み強化(～R3年3月)((一社)黒潮町観光ネットワーク)</li> <li>・産業振興アドバイザー(課題解決型)の活用による砂浜トレーニングプログラムの作成(5回:6/30、8/25、8/30、8/31、2月予定)((特非)NPO 砂浜美術館)</li> </ul> <p>○誘客促進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの実施(第32回Tシャツアート展(10/31～11/3)、第26回潮風のキルト展(11/21～23)) (特非)NPO 砂浜美術館)</li> <li>・誘致営業7件(5～11月の間) (一社)黒潮町観光ネットワーク)</li> <li>・観光プロモーション動画放映(10/18～12/17、高松ゆめタウン・丸亀町グリーン) (一社)黒潮町観光ネットワーク)</li> </ul> <p>○推進体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人化(9/1) (一社)黒潮町観光ネットワーク)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の商品化 ⇒滞在時間延長や複数の観光資源をリンクさせた観光商品造成、防災学習プログラムを主軸としたMICEの受入推進</li> <li>・プロモーションの強化 ⇒黒潮町の認知度をあげるための情報発信</li> <li>・観光地域づくりの推進 ⇒データ収集・分析に基づく観光戦略の実施</li> </ul>
<p>No.42 集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興(三原村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)三原村集落活動センターやまびこ ・(農)三原やまびこ</p>	<p><b>[指標]</b></p> <p>売上高 ※地域産品及びししとうの売上高</p> <p>出発点(H30):1,207万円</p> <p>直近値(R元):1,524万円</p> <p>到達目標(R2):1,300万円</p> <p>目標(R5):1,700万円</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R2.12月末) : 1,520 万円 (対前年同期比 103.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会への参加 まると高知オンライン商談会 (6/30)、首都圏小売店オンライン商談会 (7/3)、高知県産品商談会 (10/27)</li> <li>・販売促進活動の展開 日曜市 (7/12)、さとうみまんまるマルシェ (7/18~19)、三原村特産品フェア (10/3~4)、ふるさとのえいもん集マルシェ (10/18)</li> <li>・集マルシェ事前・事後研修会への参加 (9/8, 11/17)</li> <li>・「手作りおさしみこんにやく」の保存検査 (5月~)</li> <li>・HACCP の考え方を取り入れた衛生管理マニュアルの整備</li> <li>・コロナ対策アドバイザーの招へい (10/6)</li> <li>・帰省自粛学生への特別栽培米の発送 (5/18)</li> <li>・ししとう家族知事表敬訪問 (特産品フェア PR 等) (8/24)</li> <li>・通販サイト「ししとう家族商店」の開設 (9月~)</li> <li>・ハウスでの R2 年産ししとうの栽培、収穫</li> <li>・特別栽培米の栽培、収穫及び実証実験の実施</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製品及び地域産品の販路拡大 ⇒展示・商談会への参加及びオンライン商談会等への対応</li> <li>・保存方法の改良及びパッケージの作成 ⇒長期保存可能なパッケージ等の検討</li> <li>・特別栽培米「水源のしずく」のブランドの磨き上げ ⇒実証実験の推進及び販売促進活動の実施</li> </ul>

2 令和2年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況 (交付決定又は採択事業)

単位：千円

取り組み	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 (土佐清水市) ※一般事業 (特別分(クラスター加算)) 4/1 交付決定</p>	<p>スープブロス製造ラインの整備</p>	<p>124,630 (60,110)</p>
<p>■No.17 宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化(土佐清水市) ※一般事業 4/10 交付決定</p>	<p>宗田節加工販売・体験観光施設の整備</p>	<p>86,803 (39,455)</p>

取り組み	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 36 竜串地域の観光再生構想の推進 (土佐清水市) ※外部人材活用支援事業 4/1 交付決定	新足摺海洋館 SATOUMI オープンに向けた外部人材の活用	7,200 (2,900)
■No. 41 黒潮町の地域資源を活用した観光推進(黒潮町) ※外部人材活用支援事業 5/13 交付決定	防災ツーリズム・一般観光の取り組み強化のための外部人材の活用	1,320 (660)

### 3 県民参画に向けた取り組み

土佐 MBA や土佐の観光創生塾、観光地域づくり塾などの受講周知

### 4 相談案件：8件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	6/3	商工業	船舶管理事業者から、今後の事業展開と行政の支援策(地域アクションプランへの位置づけを含む)について相談を受けた。
2	7/9	水産加工	水産加工事業者から、地域アクションプランへの追加及び産振補助金活用に関する相談
3	7/9	商工業	製塩事業者から、地域アクションプランへの追加及び産振補助金活用に関する相談
4	7/21	商工業	地域 AP 事業者から新商品開発に関する相談
5	8/3	商工業	地域 AP 事業者から試作品の商品化に関する相談
6	11/19	商工業	たれの製造業者から、産振補助金を含めた支援策の活用についての相談
7	11/30	観光(NPO法人)	NPO 法人から、観光振興等に関する産振補助金を含めた支援策の活用についての相談
8	12/1	観光	観光業者から、産振補助金を含めた支援策の活用についての相談

## 地域産業クラスタープロジェクトの推進

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域地域で働き続けられる土壌づくりを目指しています。クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、18のプロジェクトを位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域	分野	プロジェクトNo.・名称	取り組み概要（目指す姿）	R2年度までの取組内容	
幡多	農業	No.16 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	宿毛市の主要農産物である文旦等の柑橘類とイチゴの生産拡大を核に、食品加工、観光などと連携して産業クラスター化を図り、地域の活性化を目指す。	これまでの取組（R元）	本プロジェクトの核となるスタートアグリカルチャーすくも（公社）が設立され、県事業を活用して2名雇用し、アドバイザーを招聘して営農が開始された（イチゴ19.2a）。また、宿毛市のふるさと納税返礼品として「冷凍イチゴ」が採用され、イチゴを使った商品開発について農家や飲食店と協議を行った。
		関連する地域AP No.6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト		R2年度の取組	農業業務に従事する地域おこし協力隊が着任するとともに、スタートアグリカルチャーすくもの職員（2名）及び研修生（3名）の確保ができた。また、すくも文旦フェア2020へ市内7事業者が参加し、ふるさと納税返礼品として、「イチゴジャム」が採用された。  【今後の方向性】 地域におけるイチゴ・柑橘のブランド化の推進及び加工品の開発・販売の強化
	水産業	No.17 土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト	地域の基幹産業であるメジカ加工業を核に、漁業者から飲食・観光を含めた産業クラスターの川上から川下に至る各業種が有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。	これまでの取組（H28～R元）	新規就業者の確保に向けた民間育成団体により長期研修を実施し、2名がメジカ漁業に就業した。また、冷凍保管施設の稼働が開始するとともに、残渣加工施設の工事が着工した。宗田節プロモーション関係では、ロゴマークを作成し、PR資材や宗田節商品に掲載するなど活用した。
				関連する地域AP No.14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 No.15 宗田節だし加工商品の販路拡大の促進 ほか	R2年度の取組
		No.18 宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト	県内屈指の生産量を誇る宿毛湾の養殖業を核に、生産者（はもとより養殖業に直接関わる餌や種苗の販売事業者）に加え、流通・加工・販売関連の事業者、さらに飲食や観光など地域の賑わいを支えている事業者などが有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。	これまでの取組（H28～R元）	クマガロ人工種苗の生産技術を確立するとともに、（株）高知道水の大型水産加工施設が完成し、24名を雇用した（R元.12現在）。また、高知の魚応援の店と連携し、首都圏や関西圏の飲食店や量販店等での「大月産本マグロ」PRを実施した。また、商業ツアーが6回実施された。
				関連する地域AP No.7 すくも湾漁協による水産物の加工・販売 No.8 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売 ほか	R2年度の取組